

収蔵企画展

YOSHIZAWA  
MEMORIAL  
MUSEUM  
OF ART,  
SANO

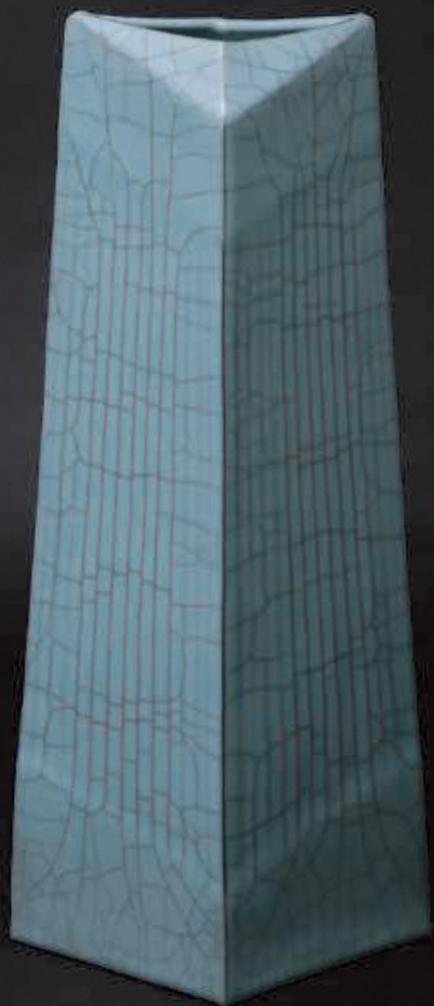
# 現代陶芸の「すがた」と「はだ」

2024年

前期：7月20日(土)～9月1日(日)

後期：9月7日(土)～10月20日(日)

会期中の休館日／毎週月曜日(8月12日、9月16日、23日、10月14日は開館)、  
祝日の翌日(8月13日、9月17日、24日、10月15日)、展示替期間(9月3日～6日)



志賀暁吉《青瓷鎗壺》2023年



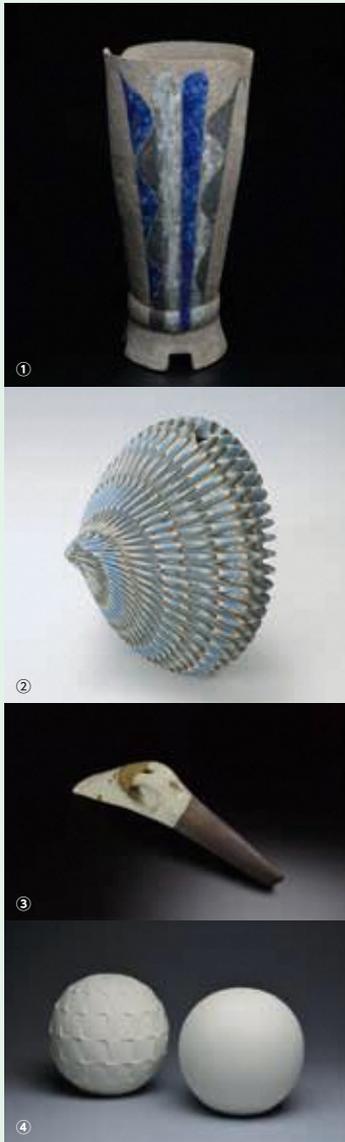
(上)井口大輔《鏽変陶銀彩器》2017年



(下)藤笠砂都子《WAVE》2011年

## 佐野市立吉澤記念美術館

○開館時間／午前9時30分～午後5時 ○観覧料／一般520円(470円) ( )内は20名以上の団体料金  
※大学生以下・障害者手帳等をお持ちの方とその介添者1名は観覧無料(学生証・障害者手帳をご提示ください)  
※団体以外は予約不要。現金のみ。入場制限を行う場合がございます。



①加守田章二「巻」1977年 ②尾形香三夫「線土編壺」月に降りる」2019年 ③宮澤章「積化流文化」2017年 ④和田的「念陶」2022年

# 現代陶芸の「すがた」と「はだ」

収蔵企画展

2024年

前期：7月20日(土)～9月1日(日)

後期：9月7日(土)～10月20日(日)

器としての用途と対峙しつつ自由な造形(すがた)を追求し、土という素材(はだ)への問いを掘り下げる——現代陶芸作品の問題意識にふれつつ、その魅力をご紹介します。

当館の陶芸コレクションは、板谷波山との交流があった故・吉澤兵左氏(1926～2011)の昭和中期から平成にかけて、約40年にわたる収集活動によるものですが、今回はご子息である現・吉澤家当主夫妻によるコレクションを中心に開催します。波山作品を理想とする兵左氏が収集した波山・楠部彌弼・宮之原謙といった当館でおなじみの磁器系作品にはじまり、1940～1980年代生まれの現役作家による、先鋭的な造形意識をもった作品まで、幅広い世代・作風で構成します。初公開作品も多数となります。ぜひご覧ください。

## おもな展示作家

(前後期で入替あり。展示期間は会期開始後に当館WEBでご確認ください)

板谷波山(1872～1963)、富本憲吉(1886～1963)、楠部彌弼(1897～1984)、宮之原謙(1898～1977)、加藤卓男(1917～2005)、田村耕一(1918～1987)、加守田章二(1933～1983)、和太守卓良(1944～2008)、尾形香三夫(1949～2022)、島田文雄(1948～)、前田正博(1948～)、佐伯守美(1949～)、宮澤章(1950～)、広瀬義之(1954～)、齊藤勝美(1958～)、迎泰夫(1966～)、加藤委(1962～)、佐々木文代(1964～)、浦口雅行(1964～)、井口大輔(1975～)、川端健太郎(1976～)、志賀暁吉(1977～)、鬼丸尚幸(1977～)、和田的(1978～)、新宮さやか(1979～)、藤笠砂都子(1980～)、田中悠(1989～)

⑤島田文雄「彩磁トルコ枯梗文陶器」1993年頃 ⑥新宮さやか「響器」2020年 ⑦迎泰夫「un」2019年 ⑧前田正博「色絵磁器」2020年



【会期中の催し物】 状況により変更になる場合があります。当館HP・Instagram等でご確認ください。

### 1) 出品作家による陶芸体験教室 ～絵付けで楽しむ若沖～

講師：迎泰夫氏(陶芸家)  
日時：2024年9月14日(土)  
午後1時～午後4時  
場所：地域交流センター(美術館内)  
定員：15名(低学年は保護者同伴)  
会費：3,000円  
申込先着順：8月6日(火)9時～申込受付開始

### 2) 夏休み美術館ではなし会 ～みんなちがって みんながすてき～

日時：2024年8月10日(土)  
午前10時30分～午前11時30分  
対象：小学生と保護者10組  
費用：参加費・観覧料無料(1組につき保護者1名)  
申込：申込先着順、7月10日(水)午前9時～申込受付  
葛生図書館へ直接、または電話(0283-86-3416)にて受付  
※合同スタンプラリーも実施します(7月20日～9月1日)

### 3) 作品鑑賞会 ～当館学芸員とご一緒に～

日時：2024年  
7月20日(土)、  
8月10日(土)、  
9月7日(土)、  
10月12日(土)  
各日午後2時～(40分程度)  
場所：美術館展示室(エントランス集合)  
※要当日観覧券、予約不要

### 4) 葛生伝承館フレスコ大壁画公開制作

日時：2024年9月下旬～10月上旬  
各日午前8時～11時頃  
(天候、その他状況によりお休みとなる場合があります)  
制作者：戸倉英雄氏・福島恒久氏(画家)  
場所：葛生伝承館大壁画(屋外)  
美術館から徒歩1分  
※自由参加、申込不要

## 次回展覧会

特別企画展

## 源氏物語とみやび

2024年11月2日(土)～12月15日(日) 江戸～近代のやまと絵、山本茜(截金ガラス)など

## ごいっしょに～佐野の文化散歩～

※休館日などについては、各館にお問い合わせください

**佐野市葛生伝承館** 0283-84-3311 (入館無料)  
「牧歌舞伎と吉澤人形頭展」7/13(土)～9/23(月)  
「羽子板展」10/8(火)～12/15(日)

**佐野市葛生化石館** 0283-86-3332 (入館無料)  
「(仮)生き物がつくる鉱物の話」7/13(土)～11/24(日)

**佐野市郷土博物館** 0283-22-5111 (入館無料・企画展期間有料)  
「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」7/27(土)～9/1(日)  
第78回企画展「戦国時代を生き抜いた佐野氏と唐沢山城」  
10/5(土)～12/8(日)

**佐野市人間国宝田村耕一陶芸館**  
0283-22-0311 (入館無料)  
「皿・鉢・陶板・展」7/5(金)～11/10(日)

## 美術館へのアクセス



車

北関東自動車道佐野田沼ICから15分  
→国道293号線を利用  
→葛生行政センター北側  
※宇都宮中心部から60分

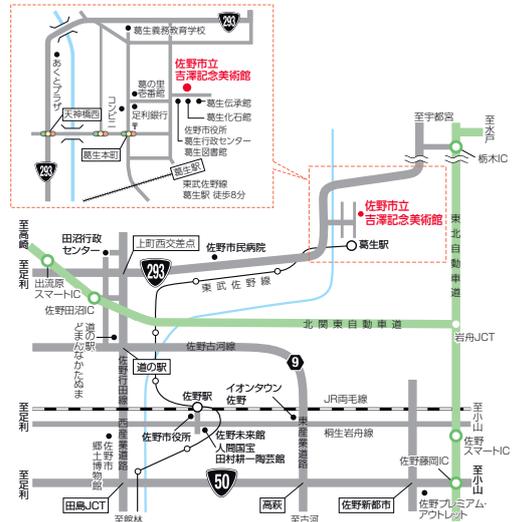


電車

東武佐野線 葛生駅徒歩8分



※所要時間は目安です



ご来館の  
前に!

予告なく会期の変更や開催中止・臨時休館となる場合があります。最新情報を当館ホームページ、Instagram(@yoshizawa\_muse\_sano) またはお電話にてご確認ください。

